

2026 年 8 月 6 日

報道関係各位

GMO ペイメントゲートウェイ株式会社

**GMO ペイメントゲートウェイ、
「Universal Commerce Protocol (UCP)」の仕様を採用した
独自の決済ソリューションを構築
～エージェンティックコマース時代に向けた決済基盤へ～**

GMO インターネットグループの GMO ペイメントゲートウェイ株式会社（代表取締役社長：相浦 一成 以下、GMO-PG）は、オンライン総合決済サービス「PG マルチペイメントサービス」において、AI エージェントと EC 事業者をつなぐオープンな共通仕様「Universal Commerce Protocol (UCP)」^(※1)を採用した独自の決済ソリューションの構築を、2026 年 6 月に完了しました。

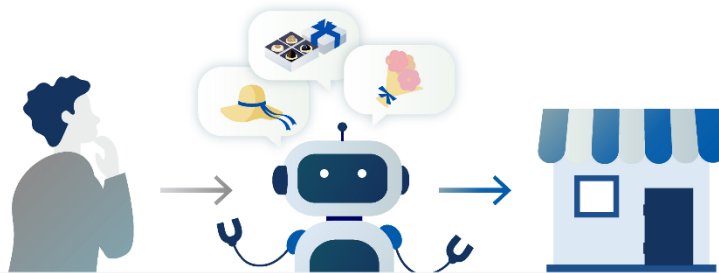
AI エージェントがユーザーに代わって商品検索や購入手続きを行う「エージェンティックコマース (Agentic Commerce)」の広がりを見据えた取り組みです。UCP に準拠する AI エージェントの登場・拡大に応じて、EC 事業者や各種オンラインサービス事業者がエージェンティックコマースに対応できる決済基盤の構築を目指してまいります。

(※1) AI エージェントが、商品検索、購入、注文管理などの商取引機能を、外部サービスと連携して実行するためのオープンな共通仕様です。Google および業界各社により共同開発されており、特定の AI エージェントに依存しない業界標準として位置づけられています。UCP に準拠した複数の AI エージェントによる利用が想定されています。

GMOペイメントゲートウェイ

UCP Universal
Commerce
Protocol

の仕様を採用した
独自の決済ソリューションを構築



GMO PAYMENT GATEWAY

【背景と概要】

生成 AI の進展により、AI エージェントがユーザーの意図を理解し、商品検索・比較・購入手続きなどを自律的に支援する「エージェンティックコマース (Agentic Commerce)」が、次世代のオンライン取引形態として国内外で注目されています。AI エージェントが購買プロセスに入り込むことで、消費者の購買体験は大きく変化し、EC 事業者にも将来的な AI エージェント経由の購買需要に向けた備えが求められ始めています。こうした流れを受け、2026 年 1 月、Google と業界各社は、AI エージェントと EC システムを接続するオー

ブンな共通仕様として「Universal Commerce Protocol (UCP)」を発表しました。UCP は、AI エージェントを介した商取引のインターフェースを業界横断で標準化することを目的とした仕様であり、特定の AI エージェントやサービスに紐づくものではなく、UCP に準拠した複数の AI エージェントによる利用が想定されています。

GMO-PG は、AI エージェント活用を前提とした次世代の決済基盤の構築を積極的に進めており、2025 年 6 月にはオンライン決済サービス「fincode byGMO」において、AI エージェント等の外部システム連携仕様である MCP (Model Context Protocol) への対応を開始しました^(※2)。

今回、その取り組みを前進させ、「PG マルチペイメントサービス」において UCP をベースとした独自の決済ソリューションを構築しました。この独自の決済ソリューション構築により、今後 UCP に準拠する AI エージェントが拡大していくなかで、エージェンティックコマースからの新たな購買需要に応えられる環境を提供します。

(※2) 2025 年 6 月 19 日発表「国内 PSP 初、『fincode byGMO』が MCP 対応、AI 時代における最適な決済プラットフォームへ」

(URL : <https://www.gmo-pg.com/news/press/gmo-paymentgateway/2025/0619.html>)

■ 連携予定の EC カート一覧^(※3)

EC カート名	提供事業者 (50 音順)
ecbeing	株式会社 ecbeing
カラーミーショップ byGMO ペパボ	GMO ペパボ株式会社
makeshop byGMO	GMO メイクショップ株式会社
GMO クラウド EC	GMO メイクショップ株式会社
ecforce	株式会社 SUPER STUDIO
F.ACE	ダイヤモンドヘッド株式会社
W2 Commerce	W 2 株式会社
メルカート	株式会社メルカート

(※3) 本一覧は 2026 年 8 月 6 日時点の情報です。

各 EC カートとの協議状況等により提供内容に変更が生じる可能性があります。対応範囲・提供時期等については、EC カートごとに順次ご案内予定です。

【GMO ペイメントゲートウェイ株式会社について】

オンライン化・キャッシュレス化・DXなどを支援する決済を起点としたサービスを提供する PSP (Payment Service Provider/決済サービスプロバイダー) です。年間決済処理金額は 23 兆円を超えており、オンライン総合決済サービスは EC 事業者や NHK・国税庁等の公的機関など 15 万店舗以上の加盟店に導入されています。

決済業界のリーディングカンパニーとして、オンライン総合決済サービス、対面領域での決済サービス、後払い・BNPL (Buy Now Pay Later)、金融機関・事業会社への BaaS 支援、海外の先端 FinTech 企業への戦略的投融資、AI 活用を前提とした次世代決済プラットフォームの構築など、決済・金融技術で社会イノベーションを牽引し、持続可能な社会の実現と社会の進歩発展に貢献してまいります。(2026 年 3 月末時点、連結数値)

以上

【報道関係お問い合わせ先】

- GMO ペイメントゲートウェイ株式会社
企業価値創造戦略統括本部 広報部
TEL : 03-3464-0182
お問い合わせ : <https://contact.gmo-pg.com/m?f=767>

【サービスに関するお問い合わせ先】

- GMO ペイメントゲートウェイ株式会社
イノベーション・パートナーズ本部
TEL : 03-3464-2323
お問い合わせ : <https://contact.gmo-pg.com/m?f=790>

- GMO インターネットグループ株式会社
グループ広報部 PR チーム 新野
TEL : 03-5456-2695
お問い合わせ : <https://group.gmo/contact/press-inquiries/>

【GMO ペイメントゲートウェイ株式会社】(URL : <https://www.gmo-pg.com/>)

会 社 名	GMO ペイメントゲートウェイ株式会社 (東証プライム市場 証券コード: 3769)
所 在 地	東京都渋谷区道玄坂 1 丁目 2 番 3 号 渋谷フクラス
代 表 者	代表取締役社長 相浦 一成
事 業 内 容	■総合的な決済関連サービス及び金融関連サービス
資 本 金	133 億 23 百万円

【GMO インターネットグループ株式会社】(URL : <https://group.gmo/>)

会 社 名	GMO インターネットグループ株式会社 (東証プライム市場 証券コード: 9449)
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役グループ代表 熊谷 正寿
事 業 内 容	持株会社 (グループ経営機能) ■グループの事業内容 インターネットインフラ事業 インターネットセキュリティ事業 インターネット広告・メディア事業 インターネット金融事業 暗号資産事業
資 本 金	50 億円

Copyright (C) 2026 GMO Payment Gateway, Inc. All Rights Reserved.